

12月14日(水) 18:30 開場 19:00 開演  
市役所1階正面玄関ロビーにて

レバレッジ  
Leverageメンバー 「打楽器アンサンブルロビーコンサート」

みつもと さとし  
光本 諭史

大阪音楽大学音楽学部器楽学科打楽器専攻卒業。同大学卒業演奏会に出演。オーケストラや吹奏楽でのエキストラを始め、多数の学校での打楽器指導およびバンドトレーナーとして後進の指導を行っている。

現在、打楽器パフォーマンス「レバレッジ」メンバー、京都外国語大学吹奏楽部バンドトレーナー、「神戸サウンドオブミュージック」ドラム講師、大阪国際大学短期大学部 助教

さなだ ちえ  
真田 千恵

大阪音楽大学音楽学部器楽学科打楽器専攻卒業。日本打楽器協会関西支部主催打楽器新人演奏会に出演。同支部推薦を受け、東京新人演奏会に出演。朝日推薦演奏会、なにわ芸術などに出演。

やまがた まさし  
山縣 雅志

大阪音楽大学卒業。幼少期よりピアノとドラムをはじめる。第6回アジア国際コンクールマリンパにて「優秀賞」受賞。大阪交響楽団、フィルムジカ管弦楽団など多数のオーケストラ公演にて客演打楽器奏者を務める。2021年には佐渡裕(指揮)、エリック・ミヤシロ(トランペット)と共演するなど、ドラマー・打楽器奏者として、コンサート・Liveなどジャンルを問わず幅広く活躍中。パーカッションパフォーマンス「Leverage」、ROOMs、世界に音楽を～SKY's各メンバー。

かさい ともこ  
葛西 友子

大阪音楽大学卒業、同大学院修了。フリー打楽器奏者として国内外問わず室内楽を中心に活動し、これまでに武生国際音楽祭やサントリー芸術財団サマーフェスティバルなど数多くのコンサートに出演する他、関西を中心にオーケストラや吹奏楽での客演、劇伴レコーディング、ラジオやテレビ番組主催の特設バンドにも年間通し参加と、活動は多岐に渡る。大阪音楽大学特任准教授として後進の指導にもあたっている。関西打楽器協会理事。



12月15日(木)  
18:30 開場 19:00 開演  
市役所1階正面玄関ロビーにて

「ハープ2重奏ロビーコンサート」

てらさわ あや  
寺澤 彩

7歳よりハープを始める。神戸女学院大学音楽学部ハープ専攻を経て、同大学大学院音楽研究科修了。同大学新人演奏会、西宮市大学新卒推薦音楽会、神戸女学院大学大学院音楽研究科第4回修士課程修了披露演奏会、第20回国民文化祭・ふくい閉会式演奏、大阪クラシック2014、マグノリア・サロンコンサートなど、さまざまな演奏会に出演。

2012年兵庫県立芸術文化センター神戸女学院小ホールにてフルートとのデュオ・リサイタルを開催。雨田光示、摩寿意英子の各氏に師事。現在、関西を中心に、オーケストラ、ウィンド・オーケストラ、室内楽などで活動している。神戸女学院大学音楽学部非常勤講師、MIKIミュージックサロン梅田ハープ科講師。

ささき ちえ  
佐々木 千恵

8才よりアイリッシュハープ、13才よりグランドハープを摩寿意英子氏に師事。神戸女学院大学音楽学部卒業。関西新人演奏会など多くの新人演奏会に出演。渡辺し、E.フォンタン、M.ノルマン、D.ワトキンス、U.ホリガー、A.ローロ各氏のもとで研鑽を積む。日本ハープコンクール プロフェッショナル部門入賞、同ヤング部門第二位。神戸市民文化振興財団賞受賞。2009年、2012年、2014年ソロリサイタル開催。神戸女学院大学非常勤講師を経て、現在フリー奏者としてソロ、オーケストラ、現代曲の初演など関西を中心に幅広く活動している。



佐々木千恵



寺澤彩

12月17日(土) 13:30 開場  
議場(市役所別館2階)にて 14:00 開演

「声楽(オペラ)コンサート」

はれ まさひこ  
晴 雅彦  
バリトン

大阪音楽大学音楽学部声楽学科声楽専攻卒業。文化庁派遣芸術家在外研修員としてドイツ・ベルリンに留学。ドイツ・ケムニッツ市立劇場「魔笛」パパゲーノでヨーロッパ・デビュー後、同劇場「ヘンゼルとグレーテル」魔女、「ウィンザーの陽気な女房たち」Dr.カウス、ドイツ・ザクセン州立劇場「蝶々夫人」などで出演。国内では、新国立劇場「運命の力」フラ・メリトローネ、「蝶々夫人」ゴローなど北海道から沖縄までさまざまな舞台上で活躍。チョン・ミョンフン、ペーター・シュナイダーなど著名な指揮者と共演し、また、ロシア・レニングラード国立歌劇場管弦楽団などソロを演唱するコンサートでも活躍。音楽祭やメディアにも多数出演し、さまざまなコンクールの審査員も務める。第3回和歌山音楽コンクール声楽部門一般の部第1位、大阪府芸術劇場奨励新人、大阪市・咲くやこの花賞、大阪文化祭奨励賞、兵庫県芸術奨励賞を受賞。富田林市文化振興事業団さするホール・アドバイザー。ふるさと富田林応援団アンバサダー。日本演奏連盟会員。大阪音楽大学教授。



あさくら しょう  
朝倉 洋

12月11日(日) 2回公演  
①13:30 開場 14:00 開演  
②16:30 開場 17:00 開演

大阪国際学園の朝倉洋先生には、守口市が企画した「光りかがやく冬のクラシックコンサート」での、「議場」コンサートや「市役所庁舎の1階ロビー」でのコンサートのために、音楽のジャンル選定や出演者の皆さんへのアプローチなど、総合的に調整をしていただきました。また、12月11日(土)に開催の「吹奏楽部コンサート」で指揮をされる朝倉洋先生にインタビューをしました。

このコンサート企画の提案について、お引き受けいただいた想いを聞かせてください。

「市役所というのは、何か用事があってはじめて行くところではないでしょうか。でも、コンサートを通じて、市庁舎に人々が集い、憩いの場になってほしいとの想いで企画に賛同しました。同時にこれは我々大学も同様に必要なことではないかと考えています。このコンサートがきっかけで、行政と市民がつながり、ひいては守口市の魅力ある文化形成の一助となればと願っています」

「議場」と「1階ロビー」コンサートの見どころ、聴きどころを教えてください。

「議場では格調高い本格的な音楽でありながらも、肩の凝らない音楽をと考えております。また、ロビーでは打楽器やハープのコンサートという変わった編成の演奏も用意し、楽しく、かつ、より身近に音楽を感じていただけるものを選んでいきます。皆さん一流の音楽家による素敵なコンサートですよ」

「音楽で何を大切にお考えですか。今回のコンサートに聴きにきて下さる皆さんへ、メッセージをお願いします。」

「人間にとって「音楽」が何のために必要なものなのか、演奏や教育を通してずっと考えています。その答えを明確に説明することは難しいですが、人類の歴史において、「クラシック」が時代を超えて脈々と引き継がれ、今もなお、この時代に伝えられているのがその答えの一つかもしれませんね。今回のコンサートでも、聴きにきて下さる皆様に音楽を通して何かを感じてもらえることができるともうれしく思います」